

第9期第2回地域包括ケア推進会議 <孤独・孤立対策部会> 会議概要

日時: 令和6年12月17日(火)19:00～21:00

会場: 中野区役所7階 701, 702会議室

出席者: 下記のとおり

【委員】 13名

渡辺会長、徳丸委員、小川委員、大久保委員、後藤委員、濱本委員、小池委員、石坂委員、阿部委員、鈴木(裕)委員、吉田委員、白土委員、中山(理)委員、

欠席者: 5名

酒井委員、永易委員、稲葉委員、鈴木(秀)委員、牧野委員

【オブザーバー】 7名

山田氏、北村氏、熊谷氏、種田氏、松原氏、上遠野氏、米山氏

【事務局】 7名

石井部長、河村課長、高橋課長、菅野課長、平田所長、青木課長、長岡係長

議事要旨

1 開会 (19:00～)

- 渡辺会長より開会のあいさつ
- 事務局より事務連絡、出欠状況の報告

2 前回の振り返りと今後の孤独・孤立プラットフォームについて (19:03～)

- 第9期の孤独・孤立対策部会は、孤独孤立対策官民連携プラットフォームとして、孤独・孤立の課題が見える化し具体の支援策の検討や、プラットフォームの今後の展開を議論することとしている。
- 本部会員には、プラットフォームの構成員になっていただくことも期待しており、様々なご意見をいただきたいと思う。
- 前回は、課題の見える化の第1歩として、「孤独に悩んでいる人とは？孤立状態にある人とは？」という議題で、グループワークを行った。
- 250件の意見が出て生産性の高い議論ができたと思う。
- 意見をカテゴリ分けした資料を基に前回内容の確認

3 自己紹介 (19:12～)

- ネームテントを活用し自己紹介 1人2分

4 グループワーク(19:25～)

- ワールドカフェ形式で実施

- 議題(1)前回の議論結果からわかったこと
- 議題(2)必要な支援の検討
- 1つずつ付箋に書き出す
- プラットフォームのイメージは？
→情報・人・資源が集まり、孤独孤立対策を生み出すネットワークのイメージ。
どんなプラットフォームが良いかも含めて議論していきたい。

5 発表 (20:30～)

- 各グループより発表
- 孤独を好む人もいるが、有事の時のために常時からゆるやかな繋がりが必要
- いろんな人たちに向けたいろんなサービスの用意が必要
- 社会が便利になりすぎて孤独・孤立が生まれやすくなっているのではないか
- 災害対策など強制的に社会参加する機会
- Web やインターネット(メタバース、zoom など)を利用した場
- ごみ拾いゆるいコミュニティをする社会貢献しつつ、その場で気があった人と新たなコミュニティが作れるような居場所
- 楽しみやインセンティブを感じられる支援臭(支援されている感覚)のない場
- 目的がある居場所と目的がなくても居られる居場所
- オレンジカフェや子ども食堂を掛け合わせて、高齢者と子どもが関われる場を作る
- プラットフォームが機能することで、集められた資源や情報の掛け合わせが解決策としてのアウトプットに繋がる可能性がある
- 喫茶店のようなふらっといける居場所
- 直接の解決にならなくても情報が入る場所
- 誰とも会わなくても好きな場所と繋がることから人との繋がり作りになる
- 第3者からの声掛けが社会参加するきっかけになることもある

6 事務局より (20:53～)

- 2月22日(土)開催の孤独・孤立フォーラムのご案内
- 次回、全体会3月12日(水)19時～